

NGO 外務省定期協議会 全体会議（6月29日）  
2008年度連携推進委員会報告

1. NGO との戦略的連携にむけた5カ年計画について

- 1) 08年度3回の連携推進委員会の場で継続的に議論された。
- 2) 第3回の委員会で外務省—NGO の代表者からなる5カ年計画推進チームが設置され、5カ年計画の進捗状況の確認、意見交換会、勉強会などの議論の場の設置、連携推進委員会への報告などの役割が決められ、4月及び6月の2回の会合がもたれている。
- 3) これに先立って、09年1月より様々な課題に関して、連携推進委員会のもと外務省—NGO 間で意見交換、勉強会の場が設けられている。
  - ① 1月16日 「NGO との戦略的連携・活用に向けた5カ年計画」に関する NGO と外務省の意見交換会
  - ② 2月27日 外務省・NGO 「コミュニティ開発支援無償」勉強会
  - ③ 3月 9日 日本 NGO 連携無償資金協力に関する意見交換会
  - ④ 4月27日 日本 NGO 連携無償資金協力・NGO 活動環境整備支援事業の今後のあり方に関する NGO ・外務省の意見交換会
  - ⑤ 6月18日 外務省・NGO 「コミュニティ開発支援無償」第2回勉強会
- 4) ODA 本体事業への NGO の参加については、現在までに具体化されたものはないが、コミュニティ開発無償への参加や、JICA 協議会での民間提案型プロジェクト形成調査や技術協力プロジェクトへの参加への検討を含めて、今後に期待したい。
- 5) NGO 環境整備事業については、来年度の計画については、上記の意見交換会を踏まえた、来年度計画策定を期待したい。
- 6) NGO 連携無償の制度改革については、外務省側・NGO 側双方で意見の相違が見られるので、さらに突っ込んだ意見交換が必要であり、近々に具体的な場を設ける予定である。
- 7) 今後は、推進チームが中心となって、これまでの議論を踏まえた現状の進捗状況を確認の上、各計画が促進されるように計っていきたい。
- 8) 第2回連携推進委員会で具体的な達成状況を含めた報告ができると考えている。

2. NGO との合同評価について

- 1) 08年度は予算上の関係から、これまでの外務省と NGO との合同評価は行なわれず ODA 評価有識者会議と NGO の合同評価形式となった。
- 2) ラオスの事業について評価が行なわれ、報告書も時間はかかったが良いものが出来上がった。
- 3) しかし、その実施過程において合同評価の実施に関して十分な共通認識がたわっていなかったため、合同評価そのもののあり方に課題が残った。
- 4) 今後は、外務省が実施する ODA 評価への NGO の参加の機会を作っていく方針を確認。

3. 草の根・人間の安全保障無償への日本 NGO の協力・連携の推進

過去、何回か連携推進委員会で議題として取り上げてきたが、進展がなかった。今年度は、可能な範囲での実現を試みたい。